



あびこ市民活動 ネットワーク 会報

令和 4(2022)年 1 月 15 日発行

第 60 号

発行責任者 宇野眞理子

我孫子市湖北台 4-11-16



新年を迎えて思うこと



あびこ市民活動ネットワーク

代表 宇野 眞理子



昨年は、緊急事態宣言・無観客でのオリンピックとパラリンピックの開催・飲食店の規制緩和が行われ、秋から少しずつ人の交流が始まり、日常を取り戻しつつありました。しかし 12 月に入り南アフリカで見つかった新たな変異株の対応に今も追われています。空気感染で免疫をすり抜けると聞くと、この先の不安がぬぐえませんが、3 密に気を付けながら新年のスタートを切りたいと思います。

さて、あびこ市民活動ネットワークでは、昨年から①我孫子市市民公益活動支援指針を実りあるものにする検討グループ②地域共生社会づくりを推進するための事業グループ③子ども応援団事業グループの 3 つの事業に分けた取り組みを始めました。しかし、コロナ禍で Zoom を駆使して会議をしてもコミュニケーションを深めていくには限界があり、市民活動支援課との数回の懇談会の開催、社会福祉課や我孫子市社会福祉協議会との生活支援体制整備事業の方向性の確認、子ども応援団事業の「生きづらさからの大脱出 Part4 大人たちみんなで変わっていきこう～ありのままのキミがいい～」をテーマに 4 人の障がいを持った

お子さんを育てられた堀内さんの子育て体験談を伺う等遅々とした歩みにとどまりました。

一方、世の中の大きな変化のうねりの中で、今後の活動をどうしていくべきか？NPO 連合組織としての役割は？会員の期待に込められているだろうか？などについて、定例役員会で議論を重ねてきました。明確な方向性は共有できていませんが、今ある課題解決に向けて行政に提言したり、結びつかなかった団体間をつないだり、様々な連携を創り出していく役割がネットワークにあるのではないかと今私は考えています。

令和 4 年度の予算にも「地域をつなげるための地域づくりコーディネーター養成事業」が計上されています。今地域に欠けている視点や取り組みは何か？暮らしの足元の基盤を持続可能なかたちに再構築していくことが地域活動の活性化にも、つながっていくと思っています。先行き不透明な時代ですが、どうぞ今年もお力とお知恵をお貸しください。よろしく願い致します。今年が皆様にとって良い年となることを願いながら…。



新年明けましておめでとうございます



我孫子市長

星野 順一郎



あびこ市民活動ネットワーク会員の皆様には、日頃から市政にご協力いただき、厚く感謝申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、私たちの日常生活では、人と人との触れ合いを我

慢せざるを得ない状況が続きました。

そのような中での地域のつながりには、皆様の活動

がますます重要性を増していると感じています。

引き続き感染症対策をしっかりと行いながら、「マスクの下に笑顔」で、明るく、楽しく、元気に、皆様が活発な活動を展開されることを期待しています。

結びに、あびこ市民活動ネットワーク並びに会員の皆様の更なる発展と、ご健勝を心からお祈りしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

< も く じ >

- 1P あびこ市民活動ネットワーク代表挨拶／市長挨拶
- 2P 市民との協働⇄連携と情報共有の強化：市民活動支援課
- 3P 事業計画に基づいた活動：①グループ ②グループ③グループ
- 4P 会員の活動あれこれ：我孫子の景観を育てる会
- 5P 新会員の紹介：地域支援グループ オキクルミ猫の手

- 6P 地域活動あれこれ：あびこ・シニア・ライフ・ネットの便利屋事業 内閣府「エイジレス章」を受章(報告) 大和 哲
- 7P 審議会報告/ACNW 役員会報告/事務局から
- 8P みんなの掲示版：我孫子の文化を守る会/革新懇/SKS から

市民との協働 ↔ 連携と情報共有の強化

市民活動支援課 課長 小池博幸

これまで、市民との協働のまちづくりを進めるために、平成13年に市民活動支援課を設置し、市民・社会福祉協議会・市の3者共同で運営する「ボランティア・市民活動サポートセンター」の開設をはじめ、市民活動フェアや市民団体のレベルアップ講座など、様々な市民活動の支援を展開してきました。

市民活動支援課から市民協働推進課へ

市民による活動の他、事業者による社会貢献活動、高校生や大学生による地域貢献活動も活発に行われるようになり連携を担う部署も様々となっております。また、担当部署が行う市民と協働する事業では、他課との連携や情報共有の場も求められています。

今後、さらに市民との協働によるまちづくりを推進していくためには、庁内の連携、市民や事業者と市が状況に応じて協働する取り組みができるようなコーディネートが重要になると考えています。

これまでの市民活動支援の他に、様々な主体の相談窓口となり、庁内の情報把握、発信、コーディネート役を担い、協働しやすい環境整備を進めて参ります。また、市民や市民活動団体、事業者など、まちづくりに関わる様々な主体が集まり、まちづくりについて話し合える場を必要に応じて設け、協働で魅力あるまちづくりに取り組んでいきます。

NPOと行政の協働の在り方



平成16年には、NPOと行政の協働の在り方を3つの類型に整理したほか、NPOと協働するために必要な基本的事項をまとめたNPOとの協働を実りあるものにするための7つの原則も作成しました。

◆職員研修を通して協働に対する考え方の理解や知識向上

市職員への意識づけは、職員研修を通して協働に対する考え方の理解や知識向上に取り組んできました。

特に新規採用職員を対象とした研修では、市内の市民活動団体の事例紹介、市民との協働について具体的な事例の検討やNPOの立上げを考えるグループワーク、また市民も参加した合意形成や相互理解をサポートする手法を学ぶファシリテーション研修など、様々な手法を取り入れ実施してきました。

◆協働する目的や協働のあり方への理解が薄れている傾向にある？

現在、市民活動支援施設の運営形態も変わったことで、ボランティアや市民活動に関する情報共有の場や意見を交換する機会も減ったように感じています。さらに協働の視点を取り入れた市の様々な制度や施策も20年以上経過し、事務的に行われるようになり、協働する目的や協働のあり方への理解が薄れている傾向にあると考えています。

当時、市民やNPOの皆さんとボランティアや市民活動に関する情報を共有しながら活発に市民活動支援について議論していた頃を懐かしく思います。

◆管理職を含めてすべての職員へ協働に対する研修の実施

令和4年度からの基本構想では、「施策推進のための横断的な取り組み」として、市民とともにつくる協働によるまちづくりの推進を掲げています。

今後は、新規採用職員の研修のほか、より一層、管理職を含めてすべての職員へ協働に対する認識を深めていくため、総務課と連携し、市としての協働の考え方や公共のあり方、住民自治の視点などを取り入れた研修の実施や、協働に関する様々な情報発信に取り組んでいきます。

【事業グループから報告】

◆①グループ 市民活動支援指針を実りあるものにするための検討事業

「市民協働推進課」対応が課題に

あびこ市民活動ネットワークは、我孫子市が昨年4月、5年ぶりに見直した市民公益活動支援指針を実りあるものにするためのグループを設置し、我孫子市の支援施策展開をフォローしていますが、今後は市民活動支援課が市民協働推進課に衣替えすることへの対応が新しい課題になります。

市民公益活動支援指針は、文字通り市民公益活動の支援を課題にしていますが、今後は市民公益活動の中でも、市民との協働に係る公益活動に重点が置かれることが予想されます。同時に、市民公益活動支援指針は、主に市民活動団体をはじめとする市民公益活動の支援を目的にしていますが、市民との協働のパートナーは、市民活動団体だけでなく、地域団体や企業などを含めた「民」全般となってきます。

これに対応して、今後は本会会員をはじめとする市内の市民公益活動団体に対する支援指針の施策を如何に着実に推進し、市民公益活動団体を「民」との協働のしっかりしたパートナーにしてゆくかが大きな課題になります。

今後、市民協働推進課による具体的な施策の展開を見守りながら、事業活動なども強化して、市民協働のポイントになるところのパートナー体制を整備するとともに、支援指針の施策を重点的に実施す

るよう、市に要望するなどの対応が必要と考えています。会員の皆様には、これまで以上に、この市民協働対応へのご協力、ご参加をお願いいたします。

なお、「市民公益活動支援指針に基づく事業案」については、昨年6月に第1回の意見交換会を開いた後、特に市側からの説明がなかったため、昨年11月22日、市民活動支援課からその後の検討状況を聞きました。

それによると、同事業案に盛り込まれている45事業のかなりの事業でとりあえずの事業の実施や検討が行われ、令和4年度予算要求（「地域をつなげるための地域づくりコーディネーター（仮称）養成事業」）も行われています。これらの施策展開についての本会との事前打ち合わせ体制などを整備することが課題になっています。それに関連して、これら支援施策について会員の皆様にご要望などございましたら、お寄せください。

（担当幹事 多田正志）

◆②グループ 地域共生社会づくりを推進するための事業

私は、あびこ市民活動ネットワークより推薦を受け、平成28年に「我孫子市高齢者地域ささえあい会議」の委員を委嘱されました。1期では、「高齢者のための日常生活困ったときガイド」を作成、2期では2地区へガイドの説明会を実施、3期はコロナの影響を受けて会議が行えない状況が続いていました。

今期より、1層の協議体（市域全体の取組み）に正副の委員長を配置することになり、吉田が委員長を務めることになりました。今後の展開として、①高齢者の手助けをしていくささえあい会議に2層（各地区社協による取組み）と顔を合わせる機会を作り、2層や地域住民も含めた地域の実情を把握することに取り組むこと、②元気な高齢者が身近な環境で働く機会を創生していくための自治会やNPOを支援する整備をする方向性で進んでいます。具体的な取り組みとしては、介護保険制度の総合事業を活用し、我孫子市ではまだ整備されていない訪問型サービスB（住主体やボランティアによる支援）を利用できるようにすること、その取り組みを希望される自治会やNPO、市民団体を支援することです。（担当幹事 吉田 充）

◆③グループ子ども応援団事業

生きづらさからの大脱出5 大人たちから変わっていこう

～つながり合って子どもを育てよう、家庭と地域と学校にコミュニケーションづくり～（仮題）

日時：2022年3月12日（土）13:30～16:30（開場13:00）

場所：我孫子南近隣センター・ホール

第1部：基調講演 吉田明子さん NPO法人CASE Japan 代表

第2部：パネルディスカッション

・吉田明子さん、遠藤美香さん（我孫子市教育研究所所長）、

山本知子さん（青空の会我孫子・足立区スクールソーシャルワーカー）ほか

第3部：つながりタイム・・・市内外の支援団体や親の会が参加予定

申込先：あびこ市民活動ステーション TEL/FAX 04-7165-4370 MAIL abikosks@themis.ocn.ne.jp





コロナ禍の中での活動と

これからの我孫子の景観を育てる会



我孫子の景観を育てる会 中塚和枝

コロナ禍で翻弄された2年間、緊急事態宣言の合間を縫い、新型コロナウイルス感染症の予防対策を万全にしながら、活動した会員の努力に敬意と感謝を申し上げます。

新しい年を迎えて今年こそ穏やかな良い年になるよう祈念された方も多かったと思います。当会の一年間を振り返りますと、昨年より実施できたことが多かったようです。

- ①「市民観桜会」は開催できたが、日立庭園公開は2年間中止した。
- ②当会の設立20周年記念講演会「手賀沼ヌマベ会議」は市境を超えて手賀沼周辺の3団体が開催した。
- ③「我孫子市景観形成市民啓発事業」の「我孫子のいろいろ八景の普及・定着」の行事は無事に終了した。
- ④会報『景観あびこ』を年6回発行した。
- ⑤まちなみ景観やボランティアガイドに取り組んでいる他市町村への福祉バス研修は2年間中止したので、足元を見直し我孫子市の魅力再認識のため、近場の散策を充実させた。



コロナ禍の自粛生活の中で私が一番できたことは、読書と思索（妄想）だろうか。

『感染症の日本史』（磯田道史著）で取り上げられた志賀直哉の「流行感冒」がNHKのドラマで放映された。その他に『雪の日』『雪の遠足』などで我孫子を歩きたくなるような描写がある。

更に今年の芥川賞候補作で三島由紀夫賞受賞作『旅する練習』（乗代雄介著）の前半部分に我孫子の景観が描写されている。

それらをもとにして市内外の人たちと歩きたいと考えている。

また4月に手賀沼公園・久寺家線が開通し、公園坂通りが我孫子市のシンボルロード「歩きたくなる道」を目指して整備される予定。市のホームページに夢のあるイメージ図が描かれている。これも楽しみの一つである。

~~~~~3月28日(月)我孫子ゴルフ倶楽部での『市民観桜会』の開催を予定しています~~~~~



市民観桜会スタッフ打合せ



我孫子ゴルフ倶楽部市民観桜会

皆さま、ぜひご来場ください。

## 新会員の紹介

 こんにちは！ 地域支援グループ 「オキクルミ猫の手」です 



これまで奉仕グループ「オキクルミ」として、あびこ市内や周辺エリアを中心に、神社の清掃や被災地支援、アート作品展企画などの活動を行っており、現在も継続中です。

メンバーはそれぞれに本業や得意分野があり、その能力や適性を生かして役割分担しながら、地域コミュニティの一環としてさまざまなことを行ってきました。

以前からメンバーの1人が地域支援「お助けマン」のお手伝いをしていましたが、代表の厨川一夫さんより「高齢のため、活動を手伝って欲しい」という申し出があったことから、今回「オキクルミ猫の手」として参加することになりました。

このほかにも「こんなことも頼みたい」「困っているが、何を頼んだらいいかわからない」などのことがあれば、お気兼ねなくご相談ください。どのメンバーも親身になってお手伝い・サポートさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

**あなたの“困った”を助けるにゃん！**

### ◆◆ 「オキクルミ猫の手」でお手伝いできることは◆◆

#### ○家のこと・庭のこと

草刈り、庭木の剪定  
薔薇の剪定、誘引  
花壇の植栽  
家の片付け手伝い・家具の移動  
障子の張り替え  
雨といの取り替え

#### ○介護のこと

介護保険外介護サービス  
※生活援助は除く  
病院用・介護・介助サービス  
薬の受け取り・身体サービス  
付き添い・話し相手

#### ○水回りのこと

浄化槽管理  
水道関係全般

#### ○体のこと・他

身なり相談（ウィッグなど）  
化粧体操（認知症予防）  
アロマハンドトリートメント  
足裏診断・フットマッサージ  
インソール（靴の中敷き）製作  
PC、スマホ指導  
ヘアカット

#### ○電気のこと

スイッチ・コンセントの交換  
照明器具交換  
エアコン取り替え  
電気工事・電気一般

#### ○その他

軽トラックでの荷物運び  
看護清掃・撤去・新規設置  
カッティングシート製作・貼り付け  
チェーンソーによる樹木の伐採  
竹の伐採・竹林整備・粉碎です。

「オキクルミ猫の手」お問い合わせ先

事務局 mail [kusabanaasobi1530@yahoo.co.jp](mailto:kusabanaasobi1530@yahoo.co.jp)

ホームページ <https://sayoyo.wixsite.com/okikurumi34>



## 地域の活動あれこれ



### あびこ・シニア・ライフ・ネット 便利屋事業



パソコン支援グループからスタートし、平成 17 年に NPO 法人となったあびこ・シニア・ライフ・ネット(以下アシラネ)では、約 10 年前から便利屋事業をニーズに応える形でスタートした。主な業務は植木の剪定、庭の草取り、簡易な家屋や門扉の修繕、水回りのトラブルや不用品の処分など。その中で依頼が多いのが剪定だという。リタイア後に我孫子に移住し、5 年前からアシラネメンバーとして便利屋事業を担当している樋口邦平さんは「庭回りは定期的に手入れが必要でリピートでの依頼が殆ど大半。

私は建築工事屋だったので家周りのことも担当しますが、利用会員に比べて活動会員が少ないのが悩みです」と語る。

アシラネでは依頼したい方は利用会

員となり入会金 1000 円を支払う(更新料はない)仕事を依頼する場合は 1 時間 1200 円の利用料金を支払い、うち 1000 円が活動会員の活動報酬に当てられる。

現在利用会員は 800 人を超えるが、便利屋業を請け負う活動会員は 5~6 名で、しかも 70 代以上が中心だという。「私は誘われて当会に入り活動を始めたが、社会の役に立てること、働くことそのものに生きがいを感じている。活動会員の高齢化が現在の大きな課題なので、ぜひ若い世代に会員になっていただき、助け合いの輪を広げてきたい」と語ってくださった。

(インタビュー 小田麻子)



## 令和 3 年度 内閣府「エイジレス章」受章(報告)

我孫子健康生きがいつくりアドバイザー協議会 代表 大和 哲

このほど、令和 3 年度「エイジレス・ライフ(※)実践事例(個人)章」を受章できたこと、先般我孫子市より伝達がありました。

受章理由は、実践事例から定年退職者の知識・経験が地域の「宝」であることに気づき、27 年にわたり地域活動に携わっている。元気シニアの知識・経験を地域で活かす環境づくりが、地域基盤整備のため重要と語り活動をしている。定年退職後は、地元 NPO 法人に入会し、「ホームサービス事業」を通して、「長寿を幸せと感じる」地域環境づくりを目指して日々活動をしている。(今年の受章者は全国 50 名、千葉県では 1 人でした)

本文を書いておりましたら協議会前会長の栗原忠聖氏の訃報が入りました。栗原会長は私を協議会活動に誘ってくださり、ご自身任中は 15 年間 50 回「探検講座」を主宰するなど、長きにわたり多くの教えを頂きました。今回受章もそのおかげとっております。

※エイジレス・ライフとは、年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由に生き生きとした生活を送ろうというもので、高齢者となっても社会の一員として活動できるという生活を見つけ出そうというものです。(内閣府ホームページ <https://www8.cao.go.jp/kourei/kou-kei/r03ageless/jissen.html> より)



訃報 当会初代会長 栗原忠聖様 当会役員 藤木顕齋様

ご逝去の訃報に接しお悔やみを申し上げますとともに、ご生前のご功績を偲び、心からご冥福をお祈りいたします

## 審議会報告

### 社会福祉協議会第6次地域福祉活動計画の第3回策定委員会報告

第6次地域福祉活動計画策定委員 富野浩司

11月12日(金)14時から市役所分館中会議室にて会議が行われた。地区社協の活動方針と市社協の支援方針について説明があり、特に市からの委託事業である「生活支援体制整備事業」に対して、市社協として取り組みを拡充していくとのことであった。また委員から、SDG's(持続可能な開発目標)の取り組みについて質問があり、当然ベースとして取り組んでいくとの回答があった。さらに、アフターコロナに対するアクションプランがないとのことに対しては第6次計画の副題などとしてこれから考えていくとのことであった。

その後、具体的な第6次地域福祉活動計画の説明があり、特に実績が少ないため今回の計画内で廃止する予定の事業また新規事業として8事業の提案があった。その他約70項目の各内容について説明があり、活発な意見の交換を行った。

#### 【新規事業】

- ・集いの場カフェ事業
- ・インクルーティブスポーツ事業
- ・社協まつり
- ・身元保証人サービス(後見事業)
- ・死後事務委任契約(後見事業)
- ・ワンコインサービス(生活支援)

#### ・おたすけバンク事業

- ・あいびこ・外国人サポート事業

#### 【拡充事業】

- ・生活支援体制整備事業(市委託事業)
- ・あびこ後見支援センター

#### 【拡大事業】

- ・子どもの成長支援事業

#### 【廃止事業】

- ・認知症カフェ 縁が和茶屋(市委託事業)
- ・訪問介護及び予防訪問介護事業
- ・居宅介護支援事業
- ・介護予防支援事業(市委託事業)
- ・障がい者児福祉サービス事業
- ・障がい者在宅生活支援事業(県委託事業)

## あびこ市民活動ネットワーク役員会報告

(2021.10 ~ 12 月度)

### ■10月度役員会 10月14日(木)

あびこ市民活動ステーション大会議室 ZOOM との併用

報告検討事項

#### 1、各グループからの報告

##### ① 市民活動支援指針グループ

市民活動支援課:次年度指針にまとめているものについては、現状とこれからについて

ネットワーク役員会までに飯塚さんが纏める。

##### ② 地域共生社会グループ

社会福祉協議会の会長と事務局長が変わった。

今後どう支援していくかネットワークとしては社協協議を受けて活動していく。

担当課と連携を取りながら情報共有し再構築していきたい。

##### ③ 子ども応援団グループ

9月26日(日)、我孫子市南近隣センター多目的ホールで実施:参加者総数 73 名。

参加者アンケートには、「参加して気持ちが楽になり、元気が出た」と答えた方が多く、発達障害や不登校についても理解できたなど、好評のうちに終了しました。

#### 2、10月15日発行予定の会報について

会報内容:各ページの説明と確認、10月15日印刷、会費納入依頼同封

#### 3、今年の市民のチカラまつりを終えて

「市民活動を知ろう!つなごう!」をテーマに9月25日(土)26日(日)の2日間にわたり、アビシルベやけやきプラザやアビスタを会場として開催され 434 名の参加がありました。

### ■11月度役員会 11月11日(木)

あびこ市民活動ステーション大会議室

報告検討事項

#### 1、市民活動支援課担当者からの報告と意見交換

#### ①小池課長、飯塚主査長と山田主査が出席予定

・指針をどういう形で進めていくのか進捗状況を知りたい。

・次年度、地域づくりコーディネーター事業をどういう形で進めていくのか情報を共有していきたい。

#### 2、事業グループからの報告

##### ②地域共生社会推進グループ

・第一層協議体・地域の課題:把握できていない。

・コーディネーターと何でも相談室との連携がない。

・第一層協議体と第二層協議体の交流を図る。

##### ③子ども応援団グループ 振り返りの会

・当事者が実行委員会に入っていて良かった。

大人たちから変わろうの会:おとかわ

・子どもファーストの共有について

子どもに選択肢・誤解を招く=好きにすれば良いではない。

#### 3、市民のチカラまつりの振り返りの会の報告

・コロナ禍の中で分散開催:場所と時間を分散して行った。

・2月の文化を守る会のイベントが最終となる。

#### 4、新入会員と会費納入状況の説明があった。

入会:2件 令和3年11月9日現在会員数

団体47 個人22 計69

#### 5、役員・会員の訃報を受けその対応をどうするか

今後検討していく。

### ■12月度役員会 12月9日(木)

あびこ市民活動ステーション大会議室 Zoom との併用

報告検討事項

#### 1、1月15日の会報発行について

会報 60 号について予定原稿、ページ構成を説明した。

2、各グループの今後の事業展開について検討した。

(担当幹事 渥美節子)

## ~~~~~★ 事務局から ★~~~~~

◆会報の「みんなの掲示板」に会員団体のイベント PR や会員募集、他の会員への呼びかけなどの掲載を希望される場合は、事務局(メール a23se@cocoa.plala.or.jp)までご連絡ください。

◆アドレスご登録の会員には、この会報電子版や、イベントなどのご案内をメールでもお届けしています。アドレスの新規登録をご希望の会員も上記にご連絡ください。

◆各団体の役員・担当者・連絡先等に変更があった場合は、その都度、あびこ市民活動ステーションに Fax にてご連絡するようお願いいたします。(Fax 04 7165 4370)

◆次号は 4 月 15 日発行予定です。

# みんなの掲示板

～講演会へのお誘い～

## ◆◆講演会「各地の将門伝説・伝承を探る」ー将門の本拠地はどこだ！ー◆◆

我孫子の文化を守る会 代表 美崎大洋

『将門記』には、平将門が939(天慶2)年に新皇へ即位した後、坂東諸国の国司を任命し、「王城を下総国の亭南に計画した」ことが記されています。

将門に関する多くの伝説・伝承が残されており、その地域の方はこの地域に将門に関する伝説が濃厚に残在していることは重要なことであって、そのことを居所、本拠地に関係づけて主張する根拠としています。

今回、我孫子の文化を守る会ではそれぞれの地域で平将門を特に研究、調査されている方から、「地元の伝説・伝承をご披露頂き、わが地域が如何に平将門と関係があるか」を主張し、PRして頂き、将門についての理解を深めたいとの思いから下記の通り講演会を企画いたしました。

★この講演会は「市民のチカラまつりイベント」の一環として開催します。皆さまのご参加を大歓迎！

日時 令和4年2月11日(金・祭) 13時半～17時

場所 あびこ市民プラザホール

内容 第1部 基調講演 市立市川考古博物館 山路 直充氏

第2部 報告「地元に残る将門伝説・伝承」坂東市、取手市、柏市、我孫子市など

参加費・定員 無料(先着100名)、事前申し込み不要

問い合わせ 080-3410-4426(美崎)

**我孫子の文化を守る会 講演会**

**各地の将門伝説・伝承を探る**  
ー将門の本拠地はどこだ！ー

第1部 基調講演 山路直充氏  
(市立市川考古博物館)

第2部 報告「地元の将門伝説・伝承」  
坂東市、取手市、柏市、我孫子市など

『将門記』には平将門が天慶2年に新皇に即位後、「王城を下総国の亭南に計画した」と記されている。具体的な所在地には石井郡(いせいごう)が多く研究者から支持されて来た。しかし将門の居所はいつかあったと言われ、豊田の地、守谷、さらには手賀原の南岸との説もある。また我孫子、柏、取手、守谷、野田などは将門に關する多くの伝説が残り、地域の人はそのことを将門の居所・本拠地と主張する根拠としている。講演会では各地の将門伝説を披露し「如何に地元が将門と関係が深いか」を語って頂く。

日時：2月11日(金・祭) PM13:30～  
場所：あびこ市民プラザホール  
参加費：無料 申し込み不要：先着100名

TEL:080-3410-4426(美崎)まで

2022年 我孫子革新懇

**新春のつどい**

とき：2022年2月12日(土)  
開演(受付) 午後1時45分  
開演 午後2時15分～4時

ところ：我孫子市民プラザ・ホール  
(あびこ市民プラザ内)

講演 「民主主義の足腰を強化しようー衆議院選を振り返って」

講師：弁護士 宇都宮 健児さん  
日本弁護士連合会元会長

入場無料

主催：市民・民主・革新の日本を守る会(我孫子市民会) (我孫子革新懇)  
協賛：中村良雄 090-3964-3111

### 2022年我孫子革新懇

### ◆◆新春のつどい◆◆

日時：2022年2月12日(土) 午後2時15分～4時

場所：あびこ市民プラザホール

講師：弁護士 宇都宮 健児さん

内容：『民主主義の足腰を強くしようー衆議院選を振り返って』

参加費：無料

問い合わせ：090-3964-3111(中村良雄)

★皆さまのご参加を歓迎します。



## あびこ市民活動ステーションからのお知らせ

### ◆1月〆切の助成金と昨年度募集のあった助成金のごく一例をご紹介します◆

活動を新たに展開したい時、団体力を高めたい時、活用できる助成金が今とてもたくさんあります。申請書を作成する手間はかかるけれど作成過程で自分達の課題に気づいたり、目指すべきビジョンが明確になったり決して無駄になることはありません。申請に関心のある団体に向けて、市民活動ステーションでは助成金申請講座を行っています(来年度は4月に実施予定)。また、申請したい団体の個別相談や申請書作成の支援も行っていますので、ぜひお問い合わせください。

| 助成金名                        | 対象事業                   | 募集時期                | 金額                     | お勧めポイント                   |
|-----------------------------|------------------------|---------------------|------------------------|---------------------------|
| パルスシステム千葉コミュニティ活動助成基金       | 千葉県内での様々な暮らし課題         | 〆切<br>1月31日         | 一般 30万円まで<br>新規立上 50万円 | まだ募集中です。                  |
| 千葉県地域ぐるみ福祉振興基金 市民福祉活動団体助成事業 | 高齢者・障害者・児童等の福祉向上のための事業 | 5月～6月               | 10万円上限                 | 啓発用印刷物の作成、配食サービス、見守りも助成対象 |
| コープみらい くらしと地域づくり助成          | 福祉、国際交流、防災、子育て等        | 9月～11月              | 20万円上限                 | これから活動を始める団体でも可           |
| 子どもゆめ基金助成金                  | 子どもの体験活動、読書活動、教材開発     | 1次：10月～11月、2次：5月～6月 | 市町村規模の活動：2万円以上 100万円以内 | 法人格がなくても可。採択率が高い。         |

問い合わせ先 電話 FAX 7165-4370 メール abikosks@themis.ocn.ne.jp